

があるので、さすがに行き過ぎだとお怒りになる方もいらっしゃるかもしれません。そういう意味では、書く内容をもっと吟味する必要があったと思います。それでもやはり、大幅に情報量を減らして字を大きくすることで見やすくしたという点は、意味があったと思います。

それから、色づかいも多少こだわりました。明るく目立つよう、しかし派手すぎて見にくくならないよう考えて、タイトルは枠を抑えめのピンクで文字が黄色、全体の背景は薄めのラベンダーといった、パステル系の色を選びました。章立ての見出しは濃紫、説明文は目立たなくてもいいから読みやすくなければいけないと思い、黒で書きました。さらに、図中で使うカラートーンや折れ線の色も、桃色に近い赤と水色に近い青に統一したことで、すっきりした感じになったと思います。

こうして書いてきますと、他の方が受賞していても

全く不思議ではなく、やはり私は運が良かったのだ、という気持ちになります。投票してくださった方々をはじめ、いろいろな方の力添えがあってこそその受賞でした。特に、指導教官の廣田勇教授をはじめとして、研究室の皆様にはポスターの発表内容からプリンターやパソコンソフトの使い方にいたるまで、たくさんのアドバイスをいただきました。ありがとうございます。また、AOプリンターを使わせていただいたことは、やはり大きかったと思います。京大の地球物理学教室技術情報委員会に感謝します。最後になりましたが、本企画の運営に関わられました全ての方に感謝します。次回秋季大会にも掲載して下さるとのこと、その頃までに自分の研究がどれだけ進んだかをはっきり思い知らされそうで、これは大変だと気を引き締めている次第です。今後もこの企画がますます良いものになるよう願っています。

(京都大学大学院理学研究科 内藤陽子)

気象技術講習会開催のお知らせ

(社)日本気象学会は(財)気象業務支援センターとの共催で、初心者向けに「気象学の基礎」の第2回講習会を下記の要領で8月から実施する。

講習の終了後、希望者には試験を行い、合格者には「修了証」を発行する。

1. 講習会の名称

気象技術講習会「気象学の基礎」課程(第2回)

2. 講習会場

(財)気象業務支援センター大会議室
東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル4F
(地下鉄東西線竹橋駅下車徒歩3分)

3. 期間

8月18日(水)から12月8日までの毎週水曜日(祝祭日を除く)15時~17時の全15回。(最終回は試験で、希望者のみ)

4. 講習内容

気象技術習得のための気象学とそれに関する数学・物理の基礎を解説する入門講座

5. 申し込み方法及び申込先

はがきに

住所、氏名、年齢、電話番号及び「気象学の基礎課程受講希望」と書いて

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル
(財)気象業務支援センター 講習会係まで申し込む。
締め切りは7月15日(木)(当日消印有効)。
定員は40名で、定員になり次第締め切る。

6. 受講料

教材費込みで1人4万円。

詳しい内容は(財)気象業務支援センター及び(社)日本気象学会のホームページに掲載する他、次の所へ。

(財)気象業務支援センター講習会係

TEL: 03-5281-0440

FAX: 03-5281-0443

E-MAIL: methiroba@jmbasc.or.jp

なお、気象技術専門課程についても開催を検討しており、細部が固まり次第掲載する。